

プロジェクト名：明石市江井島周辺を中心とした藻場造成「アマモは海のゆりかごだ！」プロジェクト  
実施者：江井ヶ島漁業協同組合  
東洋建設株式会社大阪本店  
特定非営利活動法人アマモ種子バンク

## ○面積の算定根拠【②江井島海岸】

### 【調査・算定方法】

- ①2024年5月8日にドローンによる空中写真撮影を実施し、対象海域のオルソ画像を得た（図-1）。
- ②2024年6月4日に海域内に測線を設定し、潜水土によるコドラート調査を実施してアマモの分布、生育密度、葉長等を計測するとともに水中写真を撮影した（図-1中の●印の点）。  
コドラート調査では、コドラート直上にGPSを取り付けたブイを浮かべて調査地点の位置情報を取得した。  
また、アマモ場の沖側縁部に沿ってダイバーがGPS取り付けたブイを移動させ、アマモ場の沖側境界を明らかとした（図-1中の●印の点列）。
- ③同日、海域内2ヶ所（図-1中の●印の点）でアマモの湿重調査のためアマモ生体のサンプリングを実施し、採取したアマモの湿重量を地上部と地下部に分けて計測した。
- ④図-1のコドラート調査地点ごとの水中写真（図-2）と潜水調査時の船上からの観察結果から、アマモの概略分布状況を把握した（図-1中の水色のライン）。
- ⑤オルソ画像に東西南北10m間隔で線を引き、海域を10mメッシュで分割した（図-3）。
- ⑥分割した10mメッシュそれぞれについて、潜水調査結果、空中写真から得られる藻場分布状況からアマモの被度1～5を推定した（図-3中の数値）。
- ⑦被度ごとにメッシュ数をカウントし、被度割合を乗じて、実勢面積を算出した（表-1）。

被度ごとの実勢面積(ha)=被度ごとのメッシュ数×100m<sup>2</sup>/メッシュ×被度割合×1/10000

表-1 被度別のアマモ場面積の算定結果（江井島海岸）

	該当メッシュ数	被度割合	実勢面積(ha)
被度 5	51	0.875	0.44625
被度 4	34	0.625	0.21250
被度 3	26	0.375	0.09750
被度 2	27	0.150	0.04050
被度 1	13	0.025	0.00325
		合計	0.80000

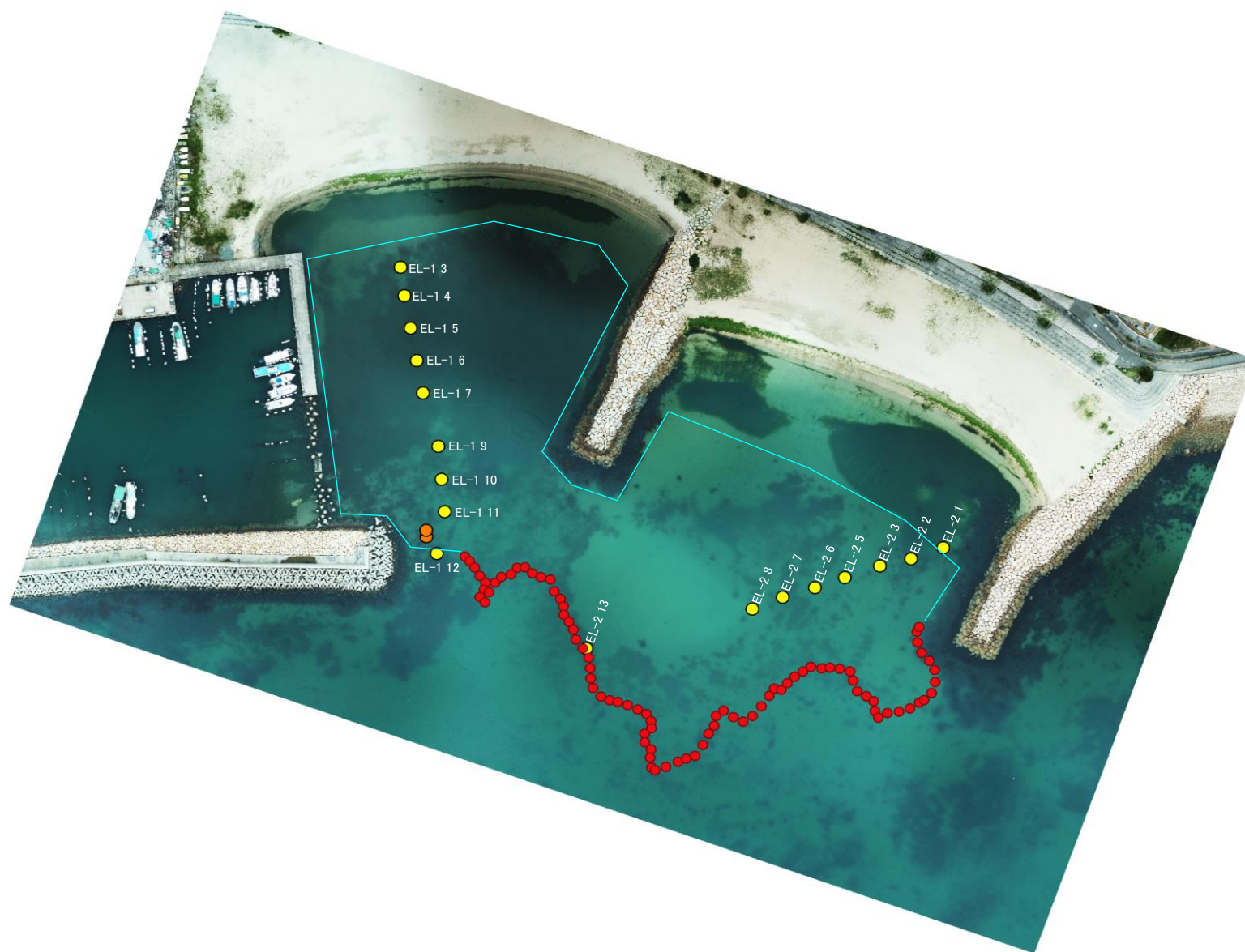


図-1 ドローンにより得たオルソ画像とコドラート調査地点（江井島海岸）



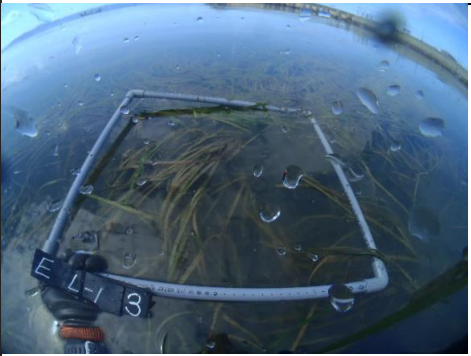
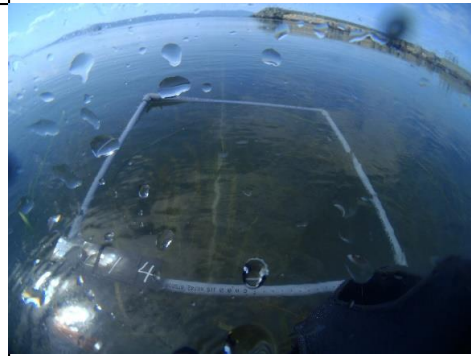


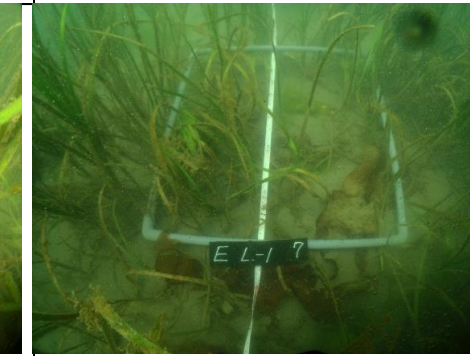




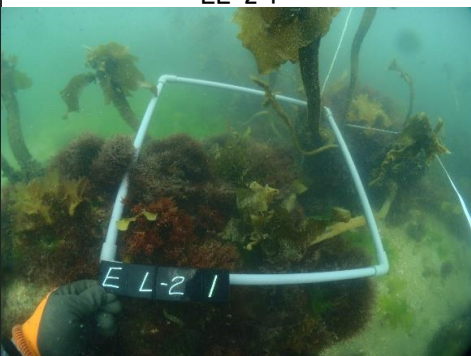


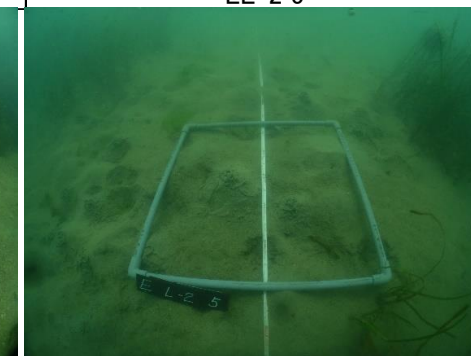
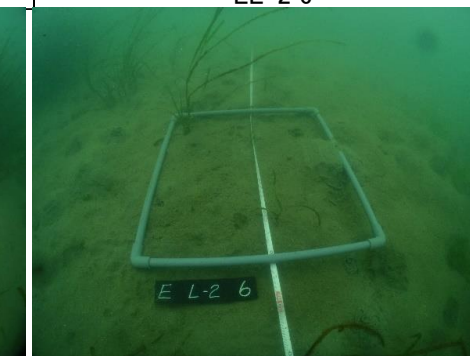

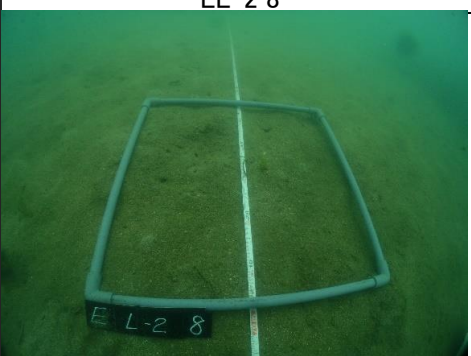
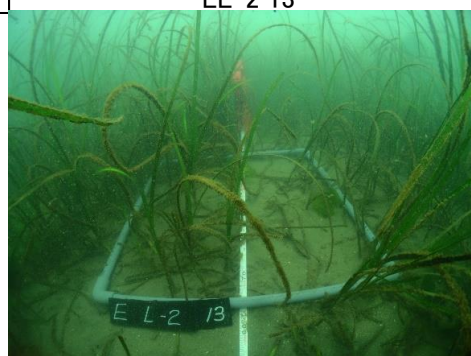
EL-1 3 	EL-1 4 	EL-1 5 	EL-1 6 	EL-1 7 	EL-1 9 
EL-1 10 	EL-1 11 	EL-1 12 			
EL-2 1 	EL-2 2 	EL-2 3 	EL-2 5 	EL-2 6 	EL-2 7 
EL-2 8 	EL-2 13 				

図-2 コドラート調査地点の水中写真（江井島海岸）



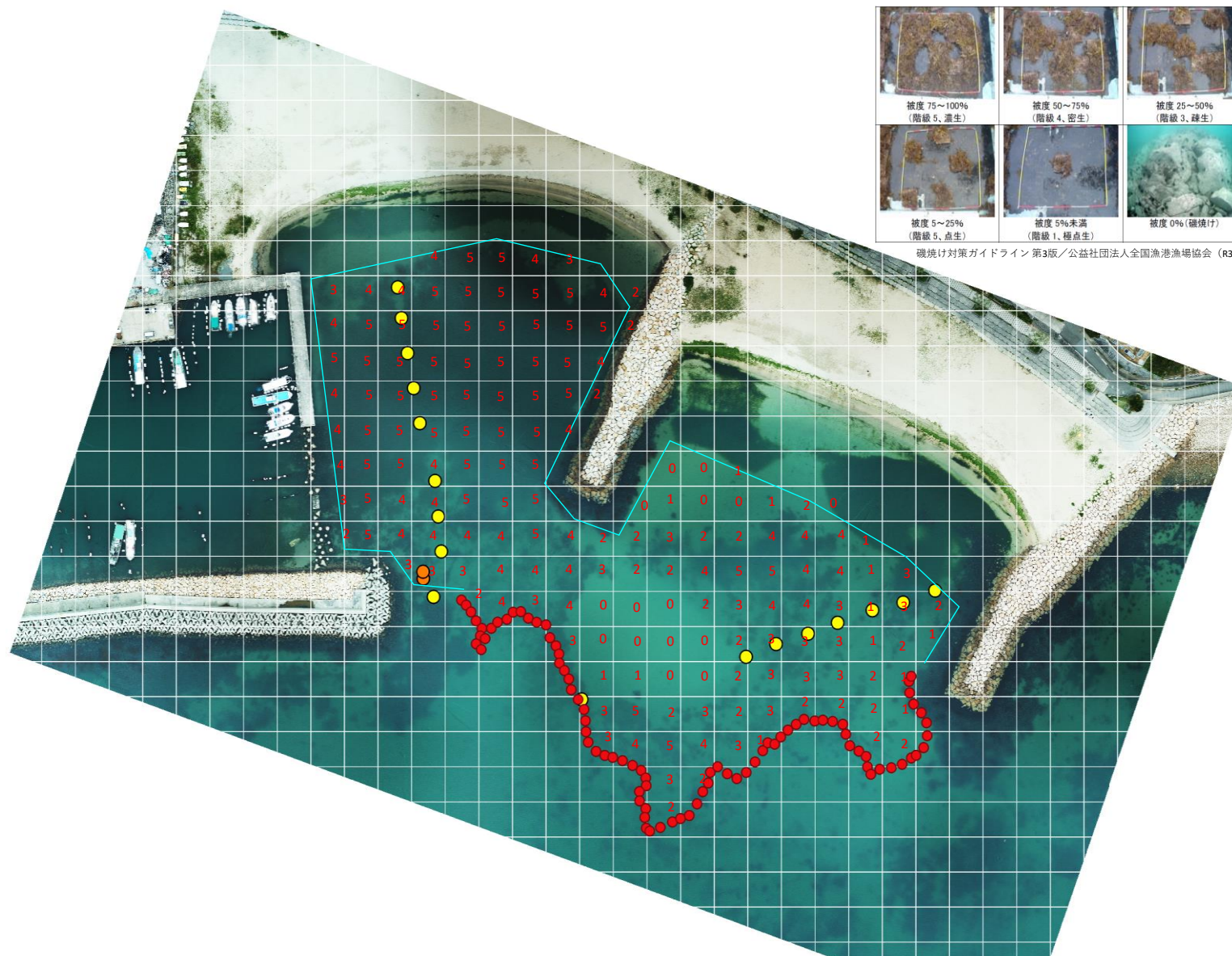


図-3 10m メッシュごとのアマモ場の被度判定 (江井島海岸)